

日本語の二年生のレビューシート (日本語の三年生を受けたい学生のために)

スワスモア大学の二年生で勉強すること

^{きょうかしよ}
教科書「なかま2」(Second edition) 第三課から第十一課(おわり)まで
^{じょうきゅう}
教科書「上級へのとびら」第一課から第四課まで

このレビューシートは「なかま2」の文法を中心とします
(this review sheet focuses on the grammar from Nakama 2)

^{きょうかしよ}
教科書「なかま2」(Second edition)

第三課 ^{しょうらい} 将来のために

I. using 前 and 後 *what verb tenses come before 前に and 後で ?

練習1

1. _____ 前に、野菜を切って下さい。(スープに入れる)
2. _____ 後で、日本に行くつもりです。(しごとをやめる)
3. _____ 後で、日本に行くつもりです。(そつぎょう)

II. A. Expressing preparations, using て form of verbs + おく

- ① 父は毎晩、遅く帰るから、父のために
ごはんをのこしておきます(のこしておく/のこしとく)
- ② 来週旅行に行くなら、車をなおしておいた方がいいですよ。

練習2:

1. 山本: 留学に行く前に、_____ 方がいいのよ。

consult with teacher in advance

黒田: そうだね。それに、病気になった時のために、

医者から薬も _____ 方がいいね。

get in advance

山本: そうよ。ところで、もうホストファミリーへのおみやげを買ったの?

黒田: ううん、まだ買ってないから、それも_____。

B. Expressing completion and regret using ～てしまう

1. Expressing completion

お父さん： レポートはもう終わったの。

子供： うん、もう書いてしまった。

2. Expressing regret and realization that a mistake was made

大事な会議（かいぎ）に遅れてしまって、すみませんでした。

練習 3 : Apologize to your colleague Mr. Takahashi for the following mistakes.

れい) 大事な書類をおとしました。→ すみません。大事な書類をおとしてしまったんです。

1. 高橋さんの友達からの手紙をまちがえて読みました。

すみません。_____。

2. お客様の電話番号をまちがえました。

すみません。_____。

3. 申込用紙に名前を記入するのを忘れました。

すみません。_____。

III. A. Using transitive and intransitive verbs

本田：まだが開いていますね。

The window is open, isn't it? (intransitive, refers to the condition of the window; takes particle が)

田中：そうですね。ちょっと暑かったから、まだを開けておきました。

Uh-huh. It was a little hot, so I opened it. (transitive, refers to the action of opening, uses direct object particle を)

練習 4 :

1. お母さん： たくさん勉強しているけど、まだせいせきが_____ね。
(not) go up

子供：今学期（こんがっき）はよく勉強して、せいせきを_____つもりなんだけど。
raise

2. (朝です)

お母さん： もう子供を _____ んですか。
wake up

お父さん： いや、昨日は遅くまで起きていたし、まだ寝させてあげてるんだよ。

3. 田中： だれが ドアを _____ んですか。

山田： 風が強くふいたから、ドアが 自分で _____ ですよ。

B. Expressing the results of an intentional action, using **て form + ある**

* ~ておく refers to the action of doing something in advance, whereas **てある** refers to the condition of something which results from an intentional action. **ている** is a neutral form that describes a state without referring to intention.

① ドア**を**開けておいた。

I opened the door (with a future purpose in mind).

② ドア**が**開けてある。

The door is open (and it was opened with an intentional purpose).

③ ドア**が**開いている。

The door is open (doesn't refer back to any intentional action).

練習 5 : complete using either ~てある or ~ていない

山本 : もうすぐ旅行に出かけるけど、じゅんびは出来たの？

中川 : だいじょうぶよ。荷物はかばんに_____し、お弁当も_____。

山本 : あ、そう。電車の予約は？

中川 : ええ、もう_____よ。

する

山本 : それから、今晚のレストランもしらべておいた方がいいかもしれないね。

中川 : そうね。レストランは まだ_____けど、ガイドブックは もう_____。

IV. Expressing purpose and reason, using **plain form + ため (に)**

expressing purpose: 日本のれきしを研究するため(に) 東京大学に留学しています。

expressing reason: 病気のため(に) 会議(かいぎ)に出られませんでした。

***ために** used to express reason is similar to ~から、but tends to be used in more formal situations.

***ため** is a noun

練習 6 : combine the two sentences using **ため (に)**

1. 就職の面接があります。明日の授業に行けません。

2. 雪でした。運転出来ませんでした。

3. 宿題がたくさんありました。アルバイトに行けませんでした。

V. A. expressing obligations using

negative stem + なければならない／なければいけない／なくてはならない／なくてはいけない

* なければいけない and なくてはいけない express a stronger sense of obligation, and are used to indicate more specific obligations and necessities, than なければならない／なくてはならない

- ① 毎日働かなければなりません。
毎日働かなきゃなんない／働かなきゃだめ／働かなきゃ
- ② 毎日働かなくてははいけません。
毎日働かなくちゃいけません／働かなくちゃだめ／働かなくちゃ
- ③ この申込書に記入しなければなりません。
この申込書に記入しなきゃなんない／しなくちゃだめ

B. expressing lack of obligation **negative stem + なくてもいい**

- ① しんごうはまだ青いから、ここで止まらなくてもいいですよ。
- ② はんこを使わなくてもけっこうですよ。サインでももいいんです。
- ③ この食堂（しょくどう）は学生じゃなくてもいいのよ。先生でもいい。

練習7：～なければならない／なくてもいい

<1～3は日本にいると考えてください>

1. たたみのへやに入る時には、スリッパを_____。
2. 今日はおみやげを買いに行きますが、その前に銀行でドルを円に_____。
3. A: 預金（よきん）の口座（こうざ）を開く時は、何を持って行けばいいの？
B: まずはパスポートとお金を_____。
でも、外国人登録書（がいこくじんとうろくしょ）を_____
_____もいい。
4. A: 今週中に授業料をはらわなきゃいけないの？
B: いや、_____。来週でもいいよ。
5. A: この本を日本に送る時、航空便（こうくうびん）で送らなくてはいけませんか？
B: いいえ、航空便（こうくうびん）_____。船便（ふなびん）でもいいですよ。

第四課 おねがい

I. A. Indirect yes-no embedded questions

- ① 木村さんが同窓会（どうそうかい）に行くかどうか知っていますか。
- ② あの映画は面白いかどうかよく覚えていない。

B. Indirect what/when/where etc. embedded questions

Embedded questions with a question word.

- ① 山田さんはどんな研究をしているか知りません。
- ② 本田： 冬休みはどこに行きますか。
木村： どこに行くかまだ分かりません。

Yes/no embedded questions with ～かどうか。

- 橋本： 今年もまた冬休みにフロリダに行きますか。
ミラー： そうですね。行けるかどうかまだ分かりません。

練習 8 :

1. すだ先生は料理がじょうずですか。

_____。

2. ガードナー先生はどこでうまれましたか。

_____。

II. ～ていく／～てくる p. 191 Activity 1 を見て下さい。

III. ～てほしい／～てもらう／～ていただく

expressing desire, using ほしい

A. Noun が ほしい (い adjective) and Noun を ほしがる (verb)

* use ほしいです for yourself, and ほしがっています for other people

- ① 犬がとてもほしいんです。でも、部屋がせまいし、かえないと思います。
- ② 父： 誕生日に何がほしい？
子供： スニーカーがほしいな。
- ③ 姉は子猫をほしがっています。

B. (someone)に ～てほしい

- ① クリスマスに田中さんにおいしいケーキを作ってほしいな。
I'd like Tanaka san to cook a delicious cake for me for Christmas.
- ② そんなことを母に話さないでほしいの。
I don't want you to talk about such things to my mom.

練習 9 : make requests of your roommate using ~てほしいんです

1. カレーパーティーのためにカレーをたくさん作るから、_____。
2. これは私のタオルだから、_____。

IV. ~ましょうか p. 197 Activity 1 を見て下さい。

V. までに to express a time limit or action within which an event must be completed.
compare with まで、indicating an action continuing until the specified time

練習 10 :

1. 9月1日(まで/までに)授業料をはらわなければならない。
2. じゃがいもがやわらかくなる(まで/までに)ゆでて下さい。 *やわらかい=soft

第五課 道の聞き方と教え方

I. A. Expressing a route with the particle を

この道^をまっすぐ行くと銀行が左側に見えます。

B. Expressing a point of departure, with the particle を

つぎのバス^をいでバス^をおります。

図書館^を出るとパリッシュホールが見えます。

C. Expressing scope or limit, with the particle で

一時間^で宿題をしました。(I did my homework in one hour.)

このネックレスを三千元^で買ったのよ。

(I bought this necklace for only three thousand yen!)

練習 11 : supply the missing particles (を、に、or で)

駅_____出てから、横断歩道(おうだんほどう)_____わたってください。左側_____大きいホテルが

見えるはずですよ。そのホテルの前_____通って、つぎの交差点_____右に曲がって下さい。

1キロぐらい歩くと郵便局_____着きます。15分ぐらい_____着くと思います。

II. Expressing conditions leading to set consequences, using

plain non-past form + と

図書館^を出るとパリッシュホールが見えます。

*と conditional expresses habitual, or cause-and-effect relationships. It should not be used before a clause that expresses desire, intention, request, invitation or command. In such situations, use ~たら instead.

- ① 学生だともっと安いきっぷが買えます。
=学生だったらもっと安いきっぷが買えます。
- ② ひまだと公園に行きます。
When I'm free I (habitually) go to the park.
Compare: ひまだったら公園に行きます。
If I'm free, I'll go to the park.
- ③ 部屋が狭いと気分が悪くなります。
=部屋が狭かったら気分が悪くなります。
- ④ 夏になるとキャンパスが静かになります。
The campus (always) gets quiet in summer.
Compare: 夏になったらキャンパスが 静かになります。
The campus will be quiet when summer comes.

III. Expressing chronology, using the て form + から

パイを作ってからパーティーに行きます。

* ~てから is similar in meaning to ~た後で. However, with ~てから, the event or action in the main clause must be under the control of the speaker. You could not substitute ~てから in the sentence ピクニックに行った後で雨が降りました。

練習 1 2 : choose either ~てから or と

1. 予約を_____出かけた方がいいですよ。
する
2. 橋を_____目の前に公園が見えます。
わたる
3. このボタンを_____ドアが閉まります。
おす
4. ごはんを_____映画を見に行きましょう。

IV. expressing presuppositions, using plain form + はず

- ① 駅を出ると、大きいスーパーが見えるはずですよ。
- ② 宅急便 (たっきゅうびん) なら、明日までに着くはずですよ。
 - ・ はず is a noun.
 - ・ はず can't refer to the speaker. Use ~なければならぬ pattern instead.
明日までにレポートを出さなければならぬ。
 - ・ Also, don't confuse with つもり。
明日までにレポートを出すつもりです。

練習 1 3 : circle the correct word

1. 明日は試験があるから、今晚は図書館で勉強する（つもり／はず）です。
2. つぎの急行は八時二十分に来る（つもり／はず）です。
3. このバスは しゃくしょには止まらない（つもり／はず）です。
4. 日本に行く時、旅館にとまる（つもり／はず）ですよ。
5. そのデパートはとても大きいですから、文房具売り場（ぶんぼうぐうりば）もある（つもり／はず）です。

V. Expressing conditions-- “if it is the case, then,” using ~ (の) なら

- お客さん： 円をドルに変えたいんですが。 (p. 212)
- 銀行の人： 円をドルに変える (の) なら、パスポートがいらいます。

練習 1 4 :

1. 客： すみませんが、口座（こうざ）を開きたいんですが。
銀行員： 口座（こうざ）を_____、この申込書に記入して下さい。
2. 本田： すみません、アメリカ大使館（たいしかん）に行きたいんですけど、道を教えて下さいませんか。
交番の人： 大使館（たいしかん）に_____、つぎの角を右にまがると見えますよ。
3. 石田： どうしたんですか？ 顔色（かおいろ）が悪いですよ。
木村： ちょっと気分が悪いんです。
石田： 気分が_____、早く帰った方がいいですよ。

第六課 おく 贈り物

I. verbs of giving and receiving

A. ~に下さる／くれる giver is the subject of the sentence; recipient is speaker or member of speaker's

in-group
giver is a superior : 社長は私にこのお酒 (おさけ) を下さいました。

giver is an equal, inferior, or in-group member :
弟が私にこのCDをくれた。

B. さしあげる／あげる／やる giver is the subject of the sentence;

<recipient is not the speaker or in-group member>

• recipient is superior : 私は山田先生にくだものをさし上げました。

• recipient is equal or inferior :

クリスマスにはどんなプレゼントを友達にあげますか。

• recipient is very inferior (a pet, houseplant, etc.)

犬にハンバーガーをやった。

<recipient is subject of the sentence>

• giver is superior : 私は社長にこの時計を結婚祝いにいただきました。

• giver is equal or inferior : 町田さんはチューさんに小説をもらいました。

練習 1 5 : fill in with the appropriate word of giving/receiving

1. 日本でも バレンタインデーに男の人は女の人にプレゼントを_____か。

2. リー : すてきなセーターね。

山田 : ありがとう。姉から誕生日に_____の。

3. おせいぼに山本先生に何かを_____んですけど、どんなものがいい
でしょうか。

4. この花は母が私に_____んですよ。

5. このコーヒーカップをさくらだ先生から_____。

II. expressing something easy or hard to do, using verb stem + やすい／にくい

* ~やすい／~にくい act as い adjectives

verb stem + やすい (easy to do) : このスニーカーははきやすいですね。
もっと分かりやすい地図がほしいんです。
verb stem + にくい (hard to do) : この漢字は小さくて読みにくいですね。

練習 16 : ~やすい／にくい

1. 山中 : どうして天ぷらを作らなかったの。
有田 : すしは天ぷらより_____から、すしを作ることにしたの。
2. 本田 : 先生、この漢字の書き方を教えて下さいませんか。
先生 : いいですよ。これですか。ちょっと_____ですから、よく見て下さい。
3. 黒田 : シンさんは新しい車を買ったそうですね。
シン : そうですね。前の車より運転_____から、とても好きなんです。
4. 山中 : このファックスの使い方が分かりますか。
川村 : そうですね。ちょっと_____ですね。まず、ここに紙を入れます。
そして、電話番号を入れてからこのボタンをおすんですよ。

III. Listing actions or states using the plain form of verbs and adjectives + し

* し is used to create a list, particularly a list of reasons. In comparison with し, using the て form to connect actions gives a greater sense of a chronological connection between the joined phrases. ~たり~たりする sets up an incomplete list of examples of actions performed over a set period of time, or describes actions performed alternately.

サンフランシスコは天気もいいし、町もきれいだし、とても楽しい所ですよ。

B. Implying a reason using the plain form plus し

今日は天気もよくないし、ちょっと出かけたくないな。

練習 17 : ~し

1. 今日は寒いです。雨が降っています。コートを着た方がいいですよ。
2. 郵便局は今日はもう閉まっています。それに明日は日曜日です。
宅急便 (たっきゅうびん) で送りましょう。

3. このアパートはペットをかってはいけません。駅から遠いです。
あまり好きじゃないんです。

IV. Trying something using ~てみる p 287 activity 1 を見て下さい。

V. Quoting speech using ~という p 293 activity 3 を見て下さい。

第七課 料理

I. Expressing simultaneous actions, using the ます stem of verbs + ながら

音楽を聞きながらアルバイトをします。

main action

練習4 : ~ ながら

1. 電話で_____車を運転しちゃだめですよ。
2. 音楽を_____運動するのが好きです。
3. ワインを_____ゆっくり話しましょう。

II. ~ないで p. 323 Activity 1 を見て下さい。

III. A. expressing a hypothetical condition, using ば conditional form

* と/ば/たら/なら のちがいは何ですか

A. cases where the condition might be realized

- ① もうすこし勉強すれば、せいせきが上がると思うよ。
- ② クリスマスに雪がふればいいね。
- ③ あのコートがほしいな。もっと安ければいいのに。

練習18 : change to conditional form

1. (天気がいい) : _____公園でおべんとうを食べます。
2. (就職する) : いい会社に_____たくさんお金がもらえる。
3. (おいしい) : このパイが_____姉にも買ってあげたい。
4. (来られる) : 田中さんもパーティーに_____いいんだけど。

B. counter-factual hypothetical situations

- ① もっと早く家を出れば、八時の電車に乗れたんだけど。

If I had left home earlier, I could have ridden on the 8:00 train.

② おなかすいたね。昼ご飯をもっと食べればよかった。

I'm hungry! I wish I'd eaten more lunch.

練習 19 : make statements that are counter to the fact and tell what would have happened had they been true

れい) 試験のスケジュールを調べていなかったから、遅れてしまったんです。

試験のスケジュールを調べていれば、遅れなかったんですが。

1、学生じゃないから、安いきっぷを買えなかった。

_____。

2、犬に薬をやらなかったから、元気にならなかった。

_____。

3、映画は面白くなかったから、寝てしまった。

_____。

IV. expressing possibility, using verbs in **plain form + ことができる**

*this expression is similar to the potential form, but is used in more formal situations.

アメリカでは16さいで車を運転することができます。

練習 20 : 日本のスーパーではクレジットカードを使うことができますが、チェックは_____。

V. A. **question word + も + negative verb** (“not ~ any, no ~ ”)

山田：秋休みはどこかに行きましたか。

田中：いいえ、どこにも行きませんでした。

B. **question word + でも + affirmative verb** (“whatever/whenever/wherever”)

中川：何を食べようか。

リー：おいしいものだったら何でもいいよ。

何	何か + affirmative “something”	何も + negative “nothing”	なんでも + affirm “anything; whatever”
だれ	だれか + affirm “someone”	だれも + neg “no one” *だれ に も / だれ と も	だれでも + affirm “anyone; whoever” *だれ に でも / だれ と でも
いつ	いつか + affirm “sometime”	いつも + neg “never”	いつでも + affirm “anytime; whenever”

どこ	どこか + affirm “somewhere”	どこも + neg “nowhere” *どこにも	どこでも + affirm “anywhere;wherever” *どこにでも / *どこででも
----	-----------------------------	---------------------------------	---

* particles が and を disappear in these constructions, but に and と are retained.

練習 2 1 : a question word + か / も / でも or an indirect embedded question

- 赤木： パーティーでだれか面白い人に会いましたか。
中川： いいえ、_____ 会いませんでした。
- 山本： 買い物はいつ行きましょうか。
山田： 今週はひまですから、_____ いいですよ。
- X： あのう、すみません。駅に行きたいんですけど、
 この道を通ったらいいでしょうか。
Y： すみませんが、_____ よく分かりません。

第八課 うわさ

I. Passive form

A. direct passive

先生はメアリーをほめた。→メアリーは先生にほめられた。
The teacher praised Mary. Mary was praised by the teacher.

B. indirect passive

私はどろぼうにテレビをぬすまれた。
A thief stole my TV (and I was adversely affected).

(私は) 雨にふられた。
I was rained on.

練習 2 2 : express the speaker's feeling, using passive voice

eg. 母が私をしかったです。
私は母にしかられて、かなしかった。

- 父が私をほめました。
_____, _____。
- クラスメートが私をいじめました。
_____, _____。
- くまが私のいぬをおそいました。
_____, _____。

II. A. Expressing conjecture based on indirect evidence using ~らしい

eg. 昨日の地震（じしん）のひがいはあまりひどくなかったらしい。

It seems that/I hear that the damage from yesterday's earthquake wasn't too bad.

B. Expressing conjecture based on direct evidence using ~ようだ/みたいだ

eg. スミスさんは日本語のマンガをよく読むし、日本語のテレビも見るし、

チャットアワーに日本人と話しに行くし、日本語が大好きなようです。

Ms. Smith often reads Japanese comics, watches Japanese TV, and goes to chat hour to talk to Japanese people. It seems she really loves the Japanese language!

III. A. expressing likeness with ~のような/~のように

eg. ひこうきのようなふねをみました。

I saw a boat that looked like an airplane.

ライオンのように強くなりたい。

I'd like to be strong like a lion.

B. expressing that something is typical using ~らしい

ベーカーさんはやきゅうをするし、ハンバーガーが好きだし、

アメリカ人らしいですね。

Ms. Baker plays baseball and likes hamburgers—she's really a typical American!

IV. A. expressing limited degree “only,” using **だけ + affirmative**

この電車は新宿駅（しんじゅくえき）だけに止まります。

- だけ must follow a noun or quantity expression
- だけ is used most often before particles, but some particles such as に and で may be placed before or after it. を and が must be placed before it or not used at all.

父だけに会いました。

父にだけ会いました。

体育館だけで運動します。

体育館でだけ運動します。

B. expressing limited degree “only” using **しか + negative**

私は三ドルしか持ってない。

- しか should go after the particle. The particles が and を are omitted.

いつもルームメートとしか話しません。

あの人は高い車しか買わないよ。

練習 2 3 : answer the questions with だけ + affirm or しか + negative, using the words in parenthesis

1. コアラはどこにいますか。（オーストラリア）

2. この近くでは、どこで新幹線（しんかんせん）に乗りかえられますか。（東京駅）

3. 日本では旅館にとまりましたか？（ホテル）

V. Expressing opinions indirectly using ～んじゃない（かと思う）

第九課 文化と習慣

I. Expressing the performance of a favor using ～てあげる／くれる／もらう

eg. 先生は私にはいくを教えて下さいました。

The teacher taught me haiku (for my benefit)

友達は駅まで見送ってくれました。

My friend saw me off to the train station.

私は子供にまんがを読んであげました。

I read a comic book to the child.

私は先生に習字（しゅうじ）を教えていただきました。

I received the favor of the teacher teaching me calligraphy.

妹はそぼにハグしてもらった。

I got a hug from my grandmother.

練習 2 4 : (日本語で答えなさい。)

1. What is something your teacher did for you last year?

去年、_____。

2. What is something that your parents did for you when you were a child?

子供の時、_____。

3. What is something that you want to do for your friend next year?

来年、_____。

4. What is something that you would like your friend to do for you next year?

来年、_____。

II. Making or letting someone do something using the causative form.

eg. かのじょに私の誕生日を覚えさせました。

I made my girlfriend remember my birthday.
 弟をパーティーに行かせないつもりです。
 I don't plan to let my brother go to the party.

大学は来学期、私に専攻を決めさせます。
 Next semester, the college will make me decide on a major.
 新入生にサッカーをいっしょに練習させようと思います。
 I think I'll let the new student practice soccer with us.
 おゆで早く花をさかせた。
 Using warm water, I made the flowers bloom early.

formation:

irregular verbs	する	させる or さす
	来る	来させる or 来さす
ru verbs		replace る with させる or さす
	見る 食べる	見させる or 見さす 食べさせる or 食べさす
u verbs	すわる 話す	replace negative ending ない with せる or す すわらない → すわらせる or すわらす 話さない → 話させる or 話さす

練習 2 5 : create sentences using causative “make/let” according to the cues

れい) 毎朝、母___私___オートミール___ (食べる)

毎朝、母 は 私 に オートミール を 食べさせる。

- 朝の五時だったから、犬_____。(静かにする)
- かのじょ___私___新しい車_____くれました。(運転する)
- コーチ___チームのメンバー_____。(集まる)
- 子供の時、おじ___いつも兄___たばこ_____。(買いに行った)

III. Requesting permission to do something using the causative て form and request expressions.

eg. 理由 (りゆう) を説明させて下さい。
 Please let me explain the reason.

IV. Expressing the immediate future using ~る+ところ ; the current situation using ~ている+ところ ; and the immediate past using +ばかり

eg. 電話をかけるところです。

I am about to make a phone call.

電話をかけているところです。

I am (just now) making a phone call.

電話をかけたばかりです。

I have just made a call.

第十課 文句と謝罪 (しゃざい)

I. Expressing complaints using causative-passive form.

eg. 私は先生に漢字を書かせられた。

I was made to write kanji by the teacher. (causative-passive)

compare:

私は先生に面白い本を読ませてもらった。

I was allowed/encouraged by the teacher to read an interesting book.

練習 2 6 : complete using causative passive or causative+もらう/いただく

1. 子供の時、母に_____て、いやでした。

2. 子供の時、母に_____て、よかったです。

3. 子供の時、父に_____て、困りました。

4. 子供の時、父に_____て、うれしかったです。

II: A. Expressing efforts to change behavior with ~ようにする

Eg. これからかぎをかけるようにします。

From now on, I'll try to (remember to) lock the door.

B. describing efforts made to obtain a goal using ~ように

電車におくれないように、早く家を出た方がいいよ。

You'd better leave the house early so that you don't miss the train.

日本語が上手になるように、毎晩日本人の友達と話しています。

So that my Japanese will improve, I chat with a Japanese friend every night.

練習 A: answer the questions using ようにする

1. 日本語の先生にほめてもらうために、なにをするようにしていますか。

2. けんこうのために、なによろしくするようにしていますか。

3. 体が強くなるように、なにをするようにしたらいいですか。

III. Expressing unchanged conditions using ~まま

Eg. まどをあけたまま、寝てしまった。

I ended up sleeping with the window open.

練習 27 :

1. あの人はめがねを_____まま、プールでおよいでいます。(かける)

2. この部屋は_____ままだ、全然きれいになっていません。(昨日)

3. 子供はお風呂から出て、_____ままテレビを見ている。(服を着る)

4. バナナをまだ_____まま、食べてしまった。(青い)

IV. ~ても (even though, no matter how much, etc)

Eg. アメリカに帰っても、日本の友だちを忘れない。

Even if I return to America, I won't forget my Japanese friends.

あの店はいつ行ってもしまっている。

No matter when I go to that store, it's always closed.

練習 28 :

1. 友達が_____でも、私は友達におこりません。

2. 子供が_____でも、母は子供をしかりません。

3. 車が_____でも、買いません。

V. ~のに (despite~, although~)

Eg. 赤ちゃんが泣いているのに、お母さんはなにもしない。

Even though her baby is crying, the mother isn't doing anything.

練習 29 : Complete the dialogues using のに or ので

1. A: あの男の子、何をしていますか。

B: _____、かべを洗わされているんです。

2. A: あの子はどうしたの。元気じゃないね。

B: _____、わるくちをいわれたり、いじめられたり
している。

第十一課 しゅうしょくそうだん 就職相談

I. Using honorific expressions to show respect

A. Verbs with special honorific forms

plain form	honorific forms	~ている form
来る・行く	いらっしゃる	おいでだ/いらしゃっている
いる	いらっしゃる	いらしゃっている
する	なさる	していらっしゃる
見る	ごらんになる	みていらっしゃる
言う	おっしゃる	おしゃっている
くれる	くださる	くださっている
知っている	ごぞんじだ	しっていらっしゃる
食べる・飲む	めしあがる	めしあがっている
寝る	お休みになる	おやすみだ
着る	おめしになる	おめしだ
だ・である	でいらっしゃる	

B. conversion of verbs without special forms.

	plain form	honorific (お+ stem +になる)
verbs	出かける	おでかきになる
	うたう	おうたいになる
	書く	お書きになる
verbal noun/ compound verbs	plain form	honorific (お/ご+verbal noun+なさる)
	電話する	お電話なさる
	説明 (せつめい) する	ご説明なさる

* for て form, change auxiliary いる to いらっしゃる eg. 書いていらっしゃる

C. making requests

	plain form	honorific (お+ stem +ください)
verbs	出かける	おでかきください
	うたう	おうたいください
	書く	お書きください
verbal noun/ compound verbs	plain form	honorific (お/ご+verbal noun+なさる)
	電話する	お電話ください
	説明 (せつめい) する	ご説明ください

II. Using humble expressions

A. Verbs with special honorific forms

です・ます	けんじょう語
来る・行く	まいる
いる	おる
する	いたす
見る	はいけんする
言う	もうす
知っている	ぞんじておる
食べる・飲む	いただく
会う	お目にかかる

だ・である	(でござる)
聞く	うかがう
たずねる	うかがう
もらう	いただく
あげる	さしあげる

B. conversion of verbs without special forms.

	plain form	honorific (お+ stem +する)
verbs	出かける	おでかきする
	うたう	おうたいする
	書く	お書きする
verbal noun/ compound verbs	plain form	honorific (お／ご+verbal noun+する)
	電話する	お電話する
	説明 (せつめい) する	ご説明する

練習 30 : change the following sentences to humble or honorific as appropriate.

1. 先生はその映画を見ましたか。
2. 来月の会議でまた会いましょうか。
かいぎ
3. 先生はお魚を食べないそうですね。
4. 社長が来たら、パーティーをはじめましょう。
5. ピアノがとても上手ですが、どのぐらい練習しましたか。
6. お客様はおきていますか。
7. 先生が読んでいる本をどちらで買いましたか。

8. ミーティングの時間について、課長と話してください。

9. 私はニューヨークからきました。

10. 私はあとで連絡（れんらく）します。

11. 私はこの手紙を書きました。

12. 3時まで待ちます。

III. expressing directionality in time using ~ていく / ~てくる

練習 3 1 : complete the dialogues using ~ていく / ~てくる

1. A: 見て下さい。人がいっぱいですね。

B: 二時間前はあまり人がいなかったのに、このコンサートはこんで_____ね。

2. A: どんな仕事をしたいですか。

B: 英語の先生になって教えて_____と思っています。

3. A: あ、雨がふって_____。

B: カサがあるから大丈夫ですよ。
しょうぶ

4. A: 今日の天気は。

B: 午後はもっとさむくなって_____。雪がふるでしょう。

IV. A&B. The pronoun の and the noun こと, and the expressions ことにする and ことになる

eg.

私の生活で一番大切な[□]のは友達と過ごす時間です。

The most important thing to my life is the time I spend with friends.

先生がおしゃったことを覚えていますか。

Do you remember what the teacher said?

日本語能力試験を受けることにしました。

I have decided to take the Japanese Proficiency Exam.

京都まで出張することになりました。

It has been decided that I go to Kyoto on a business trip.

V. Expressing emphasis with quantity expression + も

eg. 田中さんは一度も事故（じこ）にあつたことはありません。

Mr. Tanaka has never had an accident (literally, not even once).

ジョンはジコーヒーをよんはいも飲んだ。

John drank (as much as) four cups of coffee.

練習 3 2 : complete the dialogues.

1. A: 森さんは CD をたくさん持っていますね。

B: そうなんです。

でも、ロックの CD は _____。

2. A: 昨日の宿題はどうでしたか。

B: 教科書を _____ が、全然分かりません。

3. A: 空港で長く待つんですよね。

B: はい。空港で _____ が、何もすることがないから困っています。

4. A: 森さんは、いつもテストがよくないですね。

B: ええ、毎日 _____。

5. A: また引っ越しですか。

B: そうなんです。今年は五回目です。

でも、来年 _____。